

会 報

平成元年度 日本醸酵工学会大会

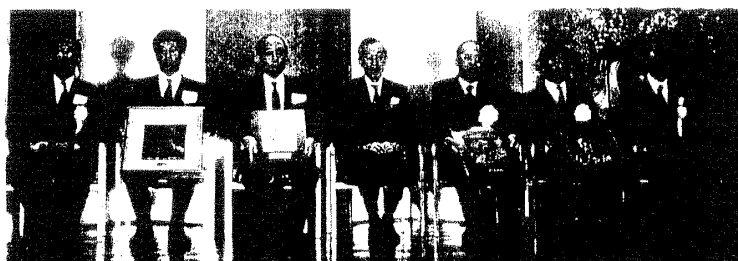
平成元年度大会は、去る10月11日から13日までの3日間名古屋大学教養部（名古屋市千種区不老町）で開催された。会場は第1会場から第8会場にわかれて402題の研究発表が行われた。

すなわち動植物細胞培養、醸造、発酵生産・生理、生物有機化学、環境浄化、微生物、酵素および酵素工学、生物化学工学、英語セッションの一般講演と細胞外バイオポリマーの機能と利用、マリンマイクロビアルテクノロジーの展望、醸造物の香りと微生物、バイオリアクターによる食品の生産、バイオにおける情報処理と制御、酵素工学の各シンポジウムならびにバイオインダストリー協会とのアミノ酸核酸および新資源生物交換研究会との地球環境・CO₂・C₁微生物の各シンポジウムを共催した。

大会第1日目は同大学経済部第1講義室に於いて授賞式および受賞講演が行われた。まず岡田会長のあいさつに続いて中尾義雄委員から江田賞の内田正裕氏について、山田靖宙委員から斉藤賞の浦上貞治氏について、戸田清委員から照井賞の佐藤誠吾氏についておよび岡田弘輔委員から発酵工学賞の栃倉辰六郎氏についてそれぞれ授賞選考経過報告ならびに業績について報告があり、受賞者に賞状、賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。

受賞講演は、栃倉辰六郎氏による「発酵工学の発展と生化学と新規な応用」と題して発酵工学賞受賞講演が行われた。

また、12日6時から同大学南部食堂において350余名参加の懇親会が盛大に行われた。



写真は左から 中尾義雄副会長、佐藤誠吾氏、栃倉辰六郎氏、岡田弘輔会長、内田正裕氏、浦上貞治氏、戸田清副会長

平成元年度第1回 編集委員会 議事録

1. 日 時 平成元年10月11日（水）
11時50分～12時50分
2. 場 所 名古屋大学 教養部
（名古屋市千種区不老町）
3. 出席者 岡田弘輔・中尾義雄・戸田 清・小林 猛・駒形和男・永井史郎・中村以正・大嶋泰治・清水祥一・高橋穰二・栃倉辰六郎・外村健三・辻阪好夫・山田靖

宙・吉沢 潔
編集理事 今中忠行
編集幹事 熊谷英彦・室岡義勝・塩谷 捨明・園元謙二・田中秀夫

4. 議事の経過および結果

第1号議事 平成元年度上半期編集状況について
今中忠行編集理事は、資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。

第2号議事 投稿規約の改正について

今中忠行編集理事は、すでに前回の理事会に提案したことであるが、英文誌の月刊と紙質、サイズを変更したことにより、別刷料金を改正することならびに事務合理化と発行の迅速化のために最終原稿をFD(フロッピーディスク)による入稿に規約を改正することを提案した。提案にもとづいて審議した結果、全員一致で提案を承認した。

第3号議事 「国内発酵工業の研究開発の動向」

の編集について

高橋穰二東日本支部長は、「国内における発酵工業関連分野の研究・開発の動向」の編集について、情報のスピード化に対応していないこと、携わる編集者が少ないことおよび編集経費が高くつくこと等をあげ、今後の編集方針ならびに代替案について審議を要請した。

その結果、本年をもって編集を中止することにした。なお、代替案については継続審議することにした。

平成元年度 第2回理事会議事録

1. 日 時 平成元年10月12日(木)
11時50分～12時50分
2. 場 所 名古屋大学 教養部
(名古屋市千種区不老町)
3. 出席者 原 昌道・藤尾雄策・今中忠行・小林
猛・栗山一秀・室岡義勝・中尾義雄・
大嶋泰治・岡田弘輔・田中渥夫・高橋
穰二・戸田 清・都河龍一郎・山田靖
宙・吉栖 肇
監 事 竹村成三・外村健三

4. 議事の経過および結果

第1号議事 平成元年度上半期事業報告について

- 1) 庶務関係 大嶋泰治庶務担当理事は、資料にもとづいて事業・会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- 2) 編集関係 今中忠行編集理事は、資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。また、昨日の編集委員会で「国内における発酵工業関連分野の研究・開発の動向」の編集を中止したことを報告した。
- 3) 会計関係 山田靖宙会計担当理事は、資料にも

とづいて本年度上半期の収入・支出について会誌刊行費が英文誌の増頁により若干オーバー気味であるが、それ以外は順調であると報告した。

第2号議事 授賞規定の改正について

岡田会長は、資料にもとづいて授賞規定の改正について提案理由を説明した後、一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

第3号議事 その他

- 1) 入会申請を承認した(賛助会員1社、団体会員1社、正会員89名、学生会員107名)
- 2) 平成元年度大会を大阪国際交流センター(大阪市)で11月14日～16日開催することを決定した。
- 3) 平成3年度大会を広島市内で開催することにした。なお、正式には次回の理事会で決定することとした。
- 4) IUMS 組織委員会の要請による会員宛名シールの提供および事前登録の実施を承認することを決めた。
- 5) 第4回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会(文部省)の「エネルギーの未来」を後援することを決定した。

平成元年度 第2回評議員会議事録

1. 日 時 平成元年10月13日(金)
11時50分～12時50分
2. 場 所 名古屋大学 教養部
(名古屋市千種区不老町)
3. 出席者 飴山 実氏他31名
監事 外村健三
陪席者 岡田弘輔氏他5名
4. 議事の経過および結果

黒木事務局長は、定足数を確認した後、議長の選出について諮ったところ、福田秀雄氏を全員一致で選出した。続いて議長および会長の挨拶があり、議事録署名人に橋本直樹および飯島貞二の両氏を任命して議事に入った。

第1号議事 平成元年度上半期事業報告について

- 1) 庶務関係 大嶋泰治庶務担当理事は、資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。
- 2) 編集状況 今中忠行編集理事は、資料にもとづいて原稿受付状況および投稿数と掲載数について報告した。
- 3) 会計関係 山田靖宙会計担当理事は、資料にもとづいて本年上半期の収入・支出について、会誌刊行費が英文誌の増頁により若干オーバー気味であるが、それ以外は順調であると報告した。
- 4) その他 黒木事務局長は、編集委員会と理事会の決定事項について報告した。
 - (1) 「国内における発酵工業関連分野の研究・開発の動向」の編集を中止することを決定した。

- (2) 英文誌の増頁により編集幹事を数名増員することを決定した。

- (3) 平成2年度大会を大阪国際交流センター（大阪市）で11月14日～16日に開催することを決定した。

- (4) 平成3年度大会を広島市内で開催することにした。なお、正式決定は次回の理事会で行うことにした。

- (5) 入会申請を承認した（賛助会員1社、団体会員1社、正会員89名および学生会員107名）

- (6) IUMS組織委員会の要請による会員宛名シールの提供および事前登録の実施を承認した。

- (7) 第4回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会（文部省）の「エネルギーの未来」を後援することを決定した。

以上の報告について、全員異議なく承認された。

第2号議事 授賞規定の改正について

中尾理事は、資料にもとづいて授賞規定の改正について提案理由を説明した。議長は一同に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。